

大会名称: 第73回国民体育大会 バasketボール競技会  
(福井しあわせ元気国体2018 バasketボール競技会)

開催場所: 福井県営体育館 Eコート

試合区分: No. 23 少年男子 2回戦

期 日: 2018(H30)年10月2日(火)

開始時間: 11:45

終了時間: 13:15

主審: 早川 貴章(新潟県)

副審: 川崎 裕晃(福井県)



<p><b>大阪</b></p> <p>(近畿)</p>	<p>○</p> <p><b>66</b></p>	<p>16 - 8</p> <p>14 - 11</p> <p>18 - 14</p> <p>18 - 27</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p><b>60</b></p>	<p><b>青森</b></p> <p>(東北)</p>
------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	小笠原 太一	12	0	4	4	3	5	1
5	*	金田 龍弥	3	0	1	1	3	2	1
6	*	石川 大晟	6	0	3	0	2	2	2
7	*	高橋 克実	4	0	2	0	0	2	1
8		武村 壮二郎	2	0	1	0	2	6	0
9		水谷 源	7	1	2	0	3	3	3
10		柴田 夏気	0	0	0	0	0	6	2
11	*	武田 康生	3	0	1	1	1	9	0
12		藤村 貴記	0	0	0	0	0	1	0
13		岩崎 光瑠	4	0	2	0	1	11	2
14		平山 虹輝	25	1	9	4	3	1	0
HC 森本 正 / TEAM									
合計			66	2	25	10	18	48	12

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	佐藤 大成	18	3	4	1	3	3	2
5		柳沢 友太	-	-	-	-	-	-	-
6		福井 太一	2	0	1	0	0	2	1
7	*	坂尻 侑生	10	2	2	0	4	4	1
8		中田 将貴	7	1	2	0	2	2	1
9		力西 誉紀	0	0	0	0	0	0	1
10	*	小田桐 遼	6	0	2	2	3	10	1
11		高ハシ 亮斗	-	-	-	-	-	-	-
12	*	蛭名 隼大	6	0	2	2	1	11	2
13	*	山本 崇瑛	11	0	5	1	4	7	3
14		古川 洗暉	0	0	0	0	0	2	0
HC 佐々木 彰彦 / TEAM									
合計			60	6	18	6	17	41	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

両チームマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がりはお互い堅さからかシュートが決まらず、開始3分、大阪#7の得点でゲームが動き出す。一進一退の攻防が続くが、#14の3Pシュートを含む3連続ゴールで大阪が14対8と引き離しにかかる。残り2分35秒、青森はタイムアウトを取り、流れを変えようとするが突らず16対8とロースコアながら大阪リードで終了。第2ピリオド、大阪は速攻による得点でリードを広げるが、青森も#7の3P等で15対2と食らいつく。しかし、残り4分を切ったところで大阪#4の連続ゴールが決まり、30対19と大阪が11点リードで前半を終了する。

第3ピリオド、早目に追いつきたい青森はリバウンドを頑張り、#7や#4の3Pで点差を縮める。一方大阪は、苦しい場面でもフリースローや速攻による得点を重ね、追撃を許さず、48対33とさらにリードを広げてこのピリオドを終了する。第4ピリオド、追いつきたい青森は、オールコートプレスをしかける。#4が連続で3Pを決め、55-58と詰め寄る。たまたま大阪がタイムアウト。その後、大阪は#14、青森は#4が中心となって得点を入れあったが、66-60で大阪が勝利した。15点差を同点まで追いついた青森の粘りも称えたい。

担当者: 林 晃司((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

